第14回(平成15年度)プラスチック成形加工学会論文賞選考報告

論文選考委員会*

審査委員長 黒 崎 晏 夫

平成15年の本会学会誌「成形加工」に掲載された37編の論文に対して、論文選考委員会において第1次、第2次さらに最終選考委員会での慎重なる審査を経て本年度は下表の2編が論文賞に選考された。

論文の選考理由：

「ポリアニリンの組成比を傾斜化したエンブラの自己組織化的成形とその導電性」の論文は、導電性ポリマーがプラスチックマトリクス中で表面部分に多く存在するような傾斜型あるいはステップ型構造を作ることによって高価な導電性ポリマーの添加量を最小限に抑え、しかも力学的物性の低下を抑制しつつ高い電気物性を得る方法を検討している。また、そのプラスチック膜の製作を実証しており、学術的および工業的に大いに評価されるものである。

「発泡成形における気泡成長の粘弾性解析」の論文は、発泡成形樹脂の実用化が現在進められている中で、気泡成長に及ぼす樹脂のレオロジー特性の影響を明らかにするために、粘弾性解析に高度な多重緩和モードPTTモデルを用いる試みを行ったものである。

その検証は今後の課題であるが、手順を踏んだ高度な解析予測方法は、工学的に評価されるものである。

2編の受賞論文は、世界的なレベルから見てももちろん遜色のないものである。しかし、本会会員に対して、少し欲張ったお願いをするとすれば、より多くの論文が投稿されることにより、優秀な論文がさらに増加し、本会の今後の隆盛に貢献していただくことを期待している。

第14回(平成15年度)
プラスチック成形加工学会 論文賞

論文題目	受賞者	所 属	掲載(巻・号)
ポリアニリンの組成比を傾斜化したエンブラの自己組織化的成形とその導電性	載 亜輝	山形大学大学院	第15巻第6号
	折原 勝男	山形大学	
	倉本 憲幸	山形大学	
	野村 隆	福島県ハイテクプラザ	
発泡成形における気泡成長の粘弾性解析	大槻 安彦	出光興産(株)	第15巻第9号
	金井 俊孝	出光興産(株)	
	瀧 健太郎	京都大学大学院	
	大嶋 正裕	京都大学大学院	

* Kurosaki, Yasuo
電気通信大学 共同研究センター
東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
2004.8.9 受理